



E235系(山手線・103系ラッピング車)(4両)



E235系(山手線・205系ラッピング車)(11両)



● 103系、205系をイメージした前面ラッピングが施された先頭車は、常点灯仕様で「ON-OFFスイッチ」付きのヘッドテールライト、前面表示(行先・線名)の点灯に白色LEDを使用し、カラープリズムによってテールライトは赤色で点灯します。この前面表示はいずれも「山手線

Yamanote Line」を装着済みとし、「205系ラッピング車セット」では交換用として印刷済みパーツ12種(英字入り行先6種・花柄12種*)を付属する他、前面窓に貼付する12種の運行番号表示を揃えたシールを両セットに付属します。また、赤外線カットのグリーンガラスは、側面窓のみならず、両セットともに先頭車前面窓も同様とし、「205系ラッピング車セット」では、実車通りにグレーのスカートを取り付けています。

(*) 行先表示「品川・渋谷方面」「新宿・池袋方面」「上野・東京方面」「上野・池袋方面」「新宿・渋谷方面」「品川・東京方面」



● この製品でも側面各ドアは、車体との材質の違いを色調の異なる銀色で再現しています。前頭部側面までラッピングが施された「103系ラッピング車セット」では、前面・側面のJRマーク並びに、側面の車いす・ベビーカーマークを印刷し、増結セット分も含めた転写シート(「トウ39編成」の車体番号、号車番号、弱冷房車表示、ATC表記の他、前面窓に貼付する編成番号)が付属します。また、側窓下にラインカラー

の帯を追加した「205系ラッピング車セット」では、「トウ44編成」の車体番号の他、号車番号、弱冷房車表示、ATC表記、前面窓の編成番号、車いす・ベビーカーマークも印刷しています。

● 両セットいずれにも先頭車屋根周りの信号炎管、無線アンテナ、列車情報アンテナ(WiMAX・インテロス)の各種別パーツを付属しています。なお、「205系ラッピング車セット」では、E231系500番代から転用された10号車サハE235形4600番代屋根上のラジオ輻射アンテナの台座も用意しています。



首都圏の通勤、通学輸送の要として、日夜、多くの乗客を運ぶ山手線。全長34.5kmの周回路線に30駅がある同線の歴史は古く、1885(明治18)年に日本鉄道が開業した品川-赤羽間に始まり、その後の度重なる延伸に加えて、1919(大正8)年には山手線と、東京を東西に貫く中央線で直通運転を開始、中野-新宿-東京-品川-渋谷-新宿-池袋-上野間で、「の」の字を描くような運転となりました。1925(大正14)年には上野-神田間が開通したことで山手線の環状化が完成、現在に至ります。山手線の開業から100年となる2025(令和7)年11月を前に、JR東日本では10月4日から11月3日まで、さまざまな鉄道イベント等を開催、期間中と期間後しばらくは記念のラッピング列車を運行しました。

トミックスでは、かつて山手線で活躍した103系と205系の記念ラッピングを施したE235系2種を、特別企画品としてモデル化いたします。103系をイメージしたラッピングの「トウ39編成」を模した「103系ラッピング車セット」は、11・6・5・1号車の4両セットとし、別売の(98526)増結セットA、(98527)増結セットBを加えることで、11両フル編成が再現可能となります。また、205系をイメージしたラッピングの「トウ44編成」を模した「205系ラッピング車セット」は、11両フル編成として、2ケースを納めたイラスト入り特製アウトパッケージ仕様になります。両セットともモーター車にはM-13モーター使用のフライホイール付き動力ユニットを搭載、その他のトレーラーには新集電システムを使用し、いずれも黒色車輪を用いています。なお、どちらのセットもイベント期間終了後に、前面のヘッドマークと側面戸袋部の案内広告が外された姿としています。

E235系

(山手線・103系・205系ラッピング車)

● **特別企画品 JR E235系電車**
(山手線・103系ラッピング車) セット(4両)
<97986> 予価¥24,200(税込)

● **特別企画品 JR E235系電車**
(山手線・205系ラッピング車) セット(11両)
<97987> 予価¥49,500(税込)

JR東日本商品化許諾済

8月発売予定

103系ラッピング車用増結セット

● JR E235系電車(後期型・山手線)増結セットA(4両) <98526> ¥12,320(税込)
● JR E235系電車(後期型・山手線)増結セットB(3両) <98527> ¥9,900(税込)